

13 施設・設備

進捗状況報告

1. C号館および経済学部本館の教室のAV設備整備拡充については、毎年継続して予算申請を行ってきたが、2007年度までは認可されなかった。しかし、教務部のサポートにより、全学部対象に2008年度から2011年度までのAV設備整備拡充年次計画が認められ、緊急性の高い教室から優先的に工事が進められることとなった。2008年度はC号館の3教室の工事が予定されており、教材の多様化にともなう教室の機能向上が今後段階的ではあるが期待できる。
2. 2008年4月、G号館のオープンにともない、経済学部も語学、講義科目など、一部の授業ではあるが最新設備の教室を使用できるようになったことは前進である。
3. 2008年度春学期現在、経済学部には下肢機能障がいをもった学生が1名在籍しているが、キャンパス自立支援課との連携のもと、本人との面談の結果、設備面での問題はない。
4. 学生によるPC利用ニーズには、かなり応えられていると認識している。無線LAN接続も、全学的な取り組みにより、多くの教室で利用可能になった。

学内第三者評価

当初目標も2005年度の改善の具体的方策も、ハード面での微調整（教室運用など）は残っているものの、概ね達成されたといえる。